

○カリキュラム骨子(案) (学習項目の概要)

大項目	大項目	中項目	学習項目の概要
基礎	各災害の基礎知識	災害発生メカニズムと被害	地震、津波、風水害、火山災害やその他の災害発生のメカニズム等についての知識、災害と被害との関係について学ぶ。 体験談を使って災害発生時の状況をイメージする。
		過去の災害事例	過去に発生した地震災害、風水害、火山噴火、原子力災害などにおける一般住民、自主防災組織のリーダー等、自衛消防組織(企業)等、ボランティア及び小中学校による対応事例から、課題・教訓を学ぶ。
		災害伝承(先人の教え)	災害に関し言い伝えられている警句等について学ぶ。
		今後発生しうる主な大規模災害	発生の切迫性が指摘されている大規模地震や、発生が懸念されている風水害、火山災害が発生した場合に想定される被害、防災上の課題と対策について学ぶ。
	地域の災害危険性と被害想定	地域の災害危険性	自分たちの地域(まち)の地理的特性(気象、地形、地盤、活断層)や社会的特性(集落、公共施設、要援護者宅)と、潜在的な脆弱性(危険箇所、過去の災害履歴など)について学ぶ。
		各種災害の被害想定等	被害想定結果やハザードマップ等から、自分たちの地域(まち)で発生が懸念される災害とその被害や影響について学ぶ。
	防災のしくみ	我が国の災害対策	防災に関する法・計画、行政機関の防災に関する組織と体制全般について学ぶ。
		市区町村の災害対策	市区町村の防災に関する組織と平時・災害時に実施する防災活動の内容、防災対策の現況について学ぶ。
	災害に強いまちづくり	災害に強いまちづくり	災害に強い地域社会の形成に向けた取組について学ぶ。また、公共施設、ライフライン、オープンスペース、避難路、避難場所、防災資機材倉庫、防災活動拠点、延焼遮断帯、水利等の防災上の役割と重要性について学ぶ。
	地域を理解する	地域における多様性と共生社会	地域に暮らす住民の多様性(外国人、障がい者等)、地域共生社会の考え方など、地域で生活する多様な住民の存在を理解し、地域で共に協力し合う必要性について学ぶ。
		地域づくりと防災	自主防災活動が、環境整備、防犯活動などと同様に地域づくりの一環であるといった地域づくりと防災の基本的な考え方等について学ぶ。
	地域の防災リーダーの役割	自主防災活動の必要性	自主防災活動の必要性(自助、共助の重要性など)について学ぶ。
		地域の防災リーダーの役割	地域の防災リーダーの役割、活動内容、リーダーシップ(指導スタイル)のあり方、リーダーにかかるストレス等について学ぶ。
		住民とのコミュニケーションの図り方	多数の住民に自主防災活動に参画してもらうためのコミュニケーションの図り方について学ぶ。
		防災と男女共同参画	男女共同参画の視点からの防災対策の必要性について学ぶ。
	自主防災組織概論	自主防災組織の役割・運営体制	自主防災組織等の役割と任務について学ぶ。
		地域の防災計画の立案と見直し	地域の防災計画の必要性及び計画立案の方法、見直しの取り組みについて学ぶ。
		自主防災組織以外の地域防災を推進する主体	自主防災組織以外で地域の防災を推進する機関や団体とそれぞれの役割について学ぶ。
		地域の他の団体等との連携	地域で活動する各種団体等と相互に連携するためのネットワークづくりの重要性や、コミュニケーション・コーディネーションの方法等について学ぶ。
	災害ボランティアの役割	地区防災計画の策定	地区防災計画の制度や、地区防災計画ガイドラインの活用方法、計画提案の手続き、実践と検証等について作成事例等から学ぶ。
		災害ボランティアの役割	災害ボランティアの果たす役割、行政や地域との連携による活動の実際について、過去のボランティア活動事例から学ぶ。
		ボランティアとして参加する際の心構え	ボランティアとしての被災地で活動する際の心構えを学ぶ。
		ボランティアと受援力の強化	ボランティア等による支援の受け入れの必要と受入体制の確保について学ぶ。
災害予防	災害に対する備え	事前の備えチェック	非常持ち出し品、備蓄品など備えておくべきことや、家族間の連絡方法(集合場所、NTTの災害伝言ダイヤル利用方法)など家庭で決めておくべきこと、避難や帰宅困難者対策、災害時の情報など、災害対応に関し事前に知っておくべきことについて学ぶ。
		我が家の安全性チェック	家具の転倒防止、食器類等の落下防止、寝室の安全対策、プロパンガスボンベ固定の補強、塀の補強、ガラスの飛散防止、消火器の定期点検など我が家の安全性を高める方法について学ぶ。
		我が家の耐震性チェック	耐震診断や耐震補強の必要性和簡易な診断で我が家の耐震性を確認する方法や耐震化の具体方法を学ぶ。
	地域住民の防災活動の促進	住民の役割	過去の事例から災害時に住民が果たすべき役割と近隣住民どうしの連携による活動の必要について学ぶ。また、円滑な連携を可能にするための日ごろからの交流のあり方を学ぶ。
		レジャー中の災害	安全確保のためにレジャー先で確認すべきこと、災害に見舞われた場合の情報収集と対応方法について学ぶ。
災害発生に備えた体制の構築	情報収集・伝達のしくみづくり	災害時の地域における情報収集・伝達体制について学ぶ。	

大大項目	大項目	中項目	学習項目の概要
災害予防	災害発生に備えた体制の構築	避難所運営体制づくり	避難所運営ガイドライン等を参考に、避難所の機能、運営主体、役割分担、運営ルールや生活ルールなどの運営基準や取組について学ぶ。また、自地域の避難所の指定状況、開設基準や方法、避難所における備蓄等について理解する。
		要配慮者支援体制づくり	要配慮者対策の必要性、課題と対策、対策の進め方等について学ぶ。
	防災訓練・講習会の企画運営	防災訓練・講習会の企画運営	防災訓練等の事例をもとに、自主防災組織が中心となって防災講習会や防災訓練を企画・運営する上で必要な知識やスキルを学ぶ。地域の危険性を把握する方法や、防災対策の手掛かりとなるマップの作成方法について学ぶ。
		防災知識の普及・啓発	地域の住民への防災知識の普及・啓発の方法(パンフレット、説明会、講話、ワークショップなど)について学ぶ。
	防災資機材等の管理	防災資機材等の管理	防災資機材倉庫の場所と鍵の管理方法等の確認、備蓄状況の定期点検や訓練での資機材活用による使い方のチェックの必要性について学ぶ。
災害ボランティアの活動体制	災害ボランティアの活動体制	災害ボランティアが実施する活動の種類、内容とその能力の発揮のための活動体制(ボランティア本部の設置・運営、活動拠点の設置、情報収集・提供、資機材等の提供、活動記録等)について学ぶ。	
	ボランティアコーディネーション	被災地のニーズとボランティア資源を結びつけるボランティアコーディネーションの必要性とコーディネーターの役割と求められるスキルを学ぶ。	
災害応急対応	発災直前の対応	気象予警報、避難勧告・指示等	気象に関する予警報や緊急地震速報、避難勧告等の避難情報の発令の仕組みと各種情報の意味について学ぶ。また、これらを受けて行うべき行動や避難等の対応について学ぶ。
	発災直後の対応	災害時にとるべき対応	・地震災害や風水害等、災害発生直後から時間を追った形での行動・対応の流れ(身の安全確保→火の始末→避難・消火活動・救助活動)や行動する上で注意すべきことや配慮すべきことを学ぶ。また、災害発生直後の対応に必要なスキルを身につける。 ・状況に応じて取るべき行動について、災害発生時に自身が所在する場所(デパート、地下街、屋外、通勤時など)やその時の状況をイメージしながら学ぶ。
		情報収集・伝達方法	災害時の情報の入手、伝達方法について学ぶ。
		初期消火	消火の方法や消火に使う道具や機器、消火活動の手順とコツ、消火活動時の安全確保に必要な知識を学び、初期消火に必要なスキルを身につける。
		応急手当の方法	応急処置の方法、感染防止、止血法、心肺蘇生法など救命救急の方法について学び、応急処置や救命に必要なスキルを身につける。
		救助方法	救助資機材の使用法、応急担架の作製方法・負傷者搬送方法について学び、救助のためのスキルを身につける。
		要援護者の安全確保(地域住民との協力)	地域全体での助け合いによる、災害時要援護者(高齢者・乳幼児・妊婦・障がい・負傷者・外国人)の安全確保、避難誘導の重要性と行動上のポイントについて学ぶ。
		安全な避難方法	安全な避難先や避難路の選定の重要性と火災・煙や津波・洪水からの避難における迅速かつ安全な避難方法、行動上のポイントについて学ぶ。
		帰宅困難者対策	帰宅困難者発生の実態と対策の現状について学ぶ。
	サバイバル技術	災害時の生活環境に制約がある中で、身近なものを活用して生き抜く上で必要なポイントやスキルを学ぶ。	
	被災生活への対応	避難所運営	過去の事例から避難所運営上で生じる課題やその対応策、留意事項等について学ぶ。また、避難所運営訓練を通じて、避難所開設の方法や要配慮者の支援の方法等、避難所運営に必要なスキルを身につける。
		防犯秩序維持	被災生活における秩序維持の必要性和、防火・防犯対策の実施や安全な生活環境確保のために取り組むべき内容、対応上の留意点を学ぶ。
		環境衛生	被災生活における衛生面の確保の必要性和、避難所等における良好な生活環境の確保のために取り組むべき内容、対応上の留意点を学ぶ。
心のケア、生活相談等		被災生活における、被災者の心のケア、生活相談の必要性和、心のケア活動や生活相談の内容、対応上で留意すべきことを学ぶ。	
災害復旧・復興	施設、設備の応急復旧活動	復旧への対応	過去の事例からライフライン等の復旧時期と復旧時に生じる課題(通電火災など)と留意すべきことについて学ぶ。
	地域の復旧・復興への住民の取組	復旧・復興への住民の取り組み	過去の災害における復旧・復興事例から、復旧・復興の進め方と生じる課題、復旧・復興における住民参画の必要性など、基本なことを学ぶ。
		生活再建のための被災者支援	被災者支援に関する考え方、具体的支援策、過去の災害における被災者支援の実態から得られた教訓等について学ぶ。